

平成29年度

事業計画書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

伊達商工会議所

# 平成29年度 事業基本方針

## 伊達商工会議所

北海道経済は、拡大し続けるアジア諸国からの訪日観光客、いわゆるインバウンドの影響により、全体としては緩やかな回復傾向にあるということが言われております。しかしながら、地域、中小企業にとりましては、依然として少子高齢化、人口減少、若年労働者の育成の問題、小売業界を取り巻く社会環境の変化、住環境の問題等々克服すべき課題は山積し、未だ景気回復を実感するには至っておりません。

地方版総合戦略はいよいよ3年目を迎え、伊達商工会議所といたしましては、行政の求めるまちづくりに対して、当商工会議所がどう関わっていけるのか、商工会議所にできること、やるべきことは何なのかを考え、積極的に協力し、温暖な気候と豊かな自然環境、安全・安心な農水産資源、伊達市の持つ様々な可能性を生かしたまちづくりを目指します。

会員企業の皆様のため、当商工会議所に課せられた役割を再確認し、平成29年度は前期に掲げた3つの柱「景気対策」、「行政や他産業との連携」、「会議所組織の強化」に引き続き取り組んでいくと同時に会員企業やそれぞれの業界を取り巻く環境の把握、会員が抱える問題の把握等、情報の収集に積極的に努め、より多くの情報、提案を発信していくことに全力を尽くしてまいります。

### 1. 景気対策事業の推進

**景気対策事業の推進**では、市内商工業の活性化及び地域における賑わいの創出を図り、低迷した地域経済の再生に向け、伊達市の持つ様々な可能性を生かしたまちづくりを目指します。商工会議所に課せられた最大の役割は、地域総合経済団体として、地方創生のために強力なリーダーシップを発揮し、行政、企業など多様な主体と連携して人口減少や地域経済の疲弊等の課題に対し、必要な施策を間断なく実施していくことにあると考えます。

### 2. 行政や他産業との連携

**行政や他産業との連携**では、「伊達市の求めるまちづくり」に対し、商工会議所がどう関わっていけるのか、できること、やるべきことは何かを考え、積極的に協力してまいります。環境の変化が激しい時代だからこそ原点に立ち返り、中小企業・地域経済の発展のため、近隣商工団体・行政等関係団体との連携を図ること、そして会員企業の声を集約し、市、道、国への提言・要望活動を積極的に推進してまいります。

### 3. 会議所組織の強化

**会議所組織の強化**では、商工会議所が会員企業から選ばれ、期待に応えられる会議所、必要とされる会議所の確立を目指し、積極的な事業運営を展開していくために会議所組織・運営の基盤強化を推進してまいります。

### 4. 情報発信機能・体制の強化

**情報発信機能・体制の強化**では、情報化社会へ対応すべく、情報基盤の強化推進を図ります。会員企業の声をしっかりと受け止め、地域が直面する課題に対して迅速かつ実効性のある施策を推進すること、そしてまた、会員企業にとって役立つ情報、セミナー等の開催案内など、会員企業が望むタイムリーな情報を発信することが商工会議所の使命であると考えます。ホームページの内容を充実させ、「会員企業の魅力」は元より「伊達市を含む西胆振全体の魅力」も併せてPRすることで、「顔」の見える商工会議所づくりを目指してまいります。

# 平成29年度 伊達商工会議所 事業計画

## 1. 景気対策事業の推進

「まちは人が住むことで形成され、経済は人が生活することで派生する」我々、商工会議所に課せられた最大の役割は、地域総合経済団体として、地方創生のために強力なリーダーシップを発揮し、行政、企業など多様な主体と連携して人口減少や地域経済の疲弊等の課題に対し、必要な施策を間断なく実施していくことにあると考えます。地場産業の育成、観光振興策、農商工連携等による地産地消の推進など、地域性を活かした事業を推進し、低迷した地域経済の再生と賑わいのあるまちづくりを図ります。

### (1) 交流人口（インバウンド等）の創生による経済の活性化

- ・インバウンド（交流・移住・定住・外国人観光客）対策の調査、研究
- ・室蘭、伊達、登別 3商工会議所魅力再発見プロジェクト事業の実施
- ・当所ホームページへの会員企業情報（展示会等のイベント・トピック、求人情報等）の積極的掲載

### (2) 小売商業の振興促進等によるまちなか活性化

- ・まちなか活性化推進事業補助金の活用支援
- ・伊達ぐるっと市事業実施支援
- ・愛のりタクシー事業実施

### (3) 産業振興に関する事業の推進

- ・住宅リフォーム助成事業の実施
- ・農商工連携推進委員会の活動支援
- ・各種補助、助成金、融資制度等の情報提供と活用の推進
- ・展示会等参加助成制度の活用促進

### (4) 空き家・空き店舗対策事業の推進

- ・中心市街地チャレンジ事業補助金申請支援
- ・空き家バンク「すみか」の運営及び相談窓口の運営

## 2. 行政や他産業との連携

「伊達市の求めるまちづくり」に対し、商工会議所がどう関わっていけるのか、できること、やるべきことは何かを考え、積極的に協力してまいります。環境の変化が激しい時代だからこそ原点に立ち返り、中小企業・地域経済の発展のため、近隣商工団体・行政等関係団体との連携を図ること、そして会員企業の声を集約し、市、道、国に対し、中小企業の経営環境改善に向けた提言・要望活動を積極的に推進してまいります。

### (1) 市、道、国に対する要望

- ・行政、関係機関等との各種連携会議における政策提言・要望活動
- ・委員会、部会活動の積極的運営による会員企業の意見、要望等の集約
- ・伊達市に対する平成30年度予算要望の検討

### (2) 行政や関係団体、他会議所等との連携

- ・空き家、空き店舗、空き宅地の利活用に関する調査、研究
- ・農商工連携による「伊達ベジファーストプロジェクト促進事業」の実施
- ・教育機関と連携した職場体験学習（インターンシップ）への協力及び新規高卒予定者「就職面接会」等への後援、協力
- ・近隣商工会議所及び商工会等との情報交換、連携の強化

### 3. 会議所組織の強化

厳しい経営環境の中にある今だからこそ会員企業の期待に応えられる会議所、会員企業にとって役に立ち、必要とされる会議所への確立を目指します。また、「魅力あるまち・選ばれるまちづくり」を目指し、関係支援機関との連携を図り、柔軟な会員サービスと地域振興策を効果的に実施していけるよう会議所組織・運営、事務局体制の基盤強化を推進してまいります。

#### (1) 会議所組織、運営の基盤強化について

- ・「未来創生会議」の創設、運営
- ・職員の意識改革と能力向上を目指した研修会、勉強会等の実施
- ・職員の資質向上を目指した指導員研修、セミナー等への参加

### 4. 情報発信機能・体制の強化

会員企業の声をしっかりと受け止め、企業や地域が直面する課題に対して迅速かつ実効性のある情報や施策を積極的に発信、「会員企業にとって身近で、頼りになる会議所」となるべく、徹底的に情報収集と情報発信を図ります。また、IT化を推進し会員企業の情報・魅力に加え、伊達市の魅力も併せて発信することで「開かれた商工会議所」を目指します。

#### (1) 会員企業の情報収集と魅力の発信について

- ・ホームページのリニューアル、内容の充実
- ・会議所ニュースの発行、FAX・メールによる情報提供
- ・日商、東商検定等、各種検定試験の広報・PR活動の強化
- ・インターネットやフェイスブック等のソーシャルメディアを活用した情報発信の強化
- ・会員企業の魅力及び伊達市の魅力の広報・宣伝等を積極的に発信
- ・マスメディアへの積極的な記事の提供
- ・当所ガイドブック、会報、ホームページ等を効果的に活用し、市内外へ向け、商工会議所の活動を積極的にPR
- ・きめ細かな会員事業所巡回を行い「行動する会議所」の実践
- ・会員企業の景況調査の実施
- ・会員企業に関する個人情報等の漏えい防止と安全管理の徹底

### 5. 事務局事業運営全般について

#### (1) 事業運営全般について

- ・会員新年交礼会の開催
- ・会頭・副会頭会議、常議員会、委員会、部会の開催
- ・伊達市とのまちづくり懇談会での要望事項の検討
- ・会員記録のデータ化、会員名簿の作成
- ・会員事業所巡回時における会議所活動の積極的なPRによる会員増強運動の実施
- ・税務、記帳指導の継続指導
- ・優良従業員に対する表彰状の交付
- ・胆振地方技能尊重推進協議会主催「永年勤続技能者表彰」対象者の推薦
- ・各種共済制度の加入促進
- ・日商検定「簿記、販売士、珠算」、東商検定「福祉住環境コーディネーター」他、「北海道観光マスター検定」の実施
- ・労働保険未加入事業者の加入促進
- ・会員企業のニーズに沿ったテーマを調査し、会員企業が求めるセミナーの開催